

令和5年度北海道文化服装専門学校 自己評価

(評価対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

【北海道文化服装専門学校の学校評価の進め方について】

本校では、学校評価を行うにあたり、教職員が評価表を記入し、その評価内容を集約したものを自己評価としている。その後、この自己評価は学校関係者評価委員会において、各委員より意見聴取をする上での参考資料としても活用されている。

1. 学校の教育理念

- ① ファッション産業の発展に伴い、社会ニーズに必要な人材を育成するために「服飾・ファッション業界を目指す人には豊かな学習環境と教員の質の向上を目指す」を理念とする。
- ② 「建学の精神」「教育目標」のもと学生たちの夢と希望を叶えられるよう、企業と学校が連携し、時代が要請するような高度な専門性を持った即戦力となる人材育成をする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ① 服飾・ファッション教育の伝統校として、全学科教育内容の充実と企業と連携した各科目の実践的な教育を実施する。インターンシップによる企業実習。企業の講師による講義など業界で率先力となるレベルまで育成する。
- ② 職業実践教育課程認定にふさわしい、学校運営に関する各種制度及び規定関係を整備し学校運営体制を見直し、専門学校としての充実を目指す。
- ③ 各ファッションコンテストに学生を挑戦させる。
- ④ 各種検定資格の合格率向上のため指導強化に努める。
- ⑤ 就職率向上のため、就職指導には学生の能力や適性を見極め、担任、就職担当の協力体制を活かす。
- ⑥ 教員の質向上のため、各自の研鑽、資格取得する。学校は研修会に参加させ教育の質向上に務める。
- ⑦ 知識、技術を身に付けるばかりではなく、学生が主体的、自主的に行動できるように育成する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1	今回
1 ・教育理念・目的・育成人材像は定められているか	3 2 1	2.71
2 ・教育理念・目標・育成人材像について、学生や保護者に伝えるよう努めているか	3 2 1	2.36
3 ・学校における職業教育の特色は明確になっているか	3 2 1	2.64
4 ・各コースで育成しようとしている人材像は、今後の各業界の方向性に沿ったものになっているか	3 2 1	2.57

教育理念・目標の項目については、全ての項目で評価点は高い水準にあるが、今年度は1項目で評価点が下がっている。意見としては、時代の変化に機敏に対応できる人材育成に努めたいとの意見や対外的な情報の発信力が脆弱化しているため、SNS等を利用し、発信頻度・内容の強化が必要ではないかとの意見があった。

(2) 学校運営

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
5	・教育理念・目標に沿った運営方針を策定し、事業計画に反映されているか	3	2	1	2.36
6	・組織運営や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能しているか	3	2	1	2.00
7	・教務・財務等の組織体制は、規則等において明確化されているか	3	2	1	2.14
8	・人事、給与に関する規程等は整備されているか	3	2	1	2.29
9	・ホームページやSNS等により、各種の教育活動を積極的に公開または紹介されているか	3	2	1	2.29
10	・毎年、自己評価を実施し、その結果を踏まえて、学校全体で改善に取り組んでいるか	3	2	1	2.00
11	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	2	1	1.93

学校運営の項目については、全ての項目で評価点があまり高くなく、今年度は1項目で評価点を下がっている。意見としては、毎年行っている自己評価の実施後の報告について結果のみが公表されているため改善点を皆で検討する場を定期的に設ける必要であるとのこと、HPやSNS等の活用についても、積極的にSNSを活用する在校生から意見聴取することにより、発信する側ではなく、受け手側が求めるものが発信できるのではないかと意見があった。また、書類の整理等についても、まだまだアナログな所が多いため、より一層デジタル化するためのルール作りが必要との意見があった。

(3) 教育活動

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
	○ 学生に対しての教育活動				
12	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	3	2	1	2.57
13	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保が図られているか	3	2	1	2.43
14	・学科のカリキュラムや関連分野における実践的な職業教育は、体系的に編成されているか、また教育方法に工夫がなされているか (産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)	3	2	1	2.57
15	・授業評価を実施し、その評価をカリキュラム等に反映する体制はあるか	3	2	1	2.36
16	・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	2	1	2.71
17	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3	2	1	2.57
18	・資格取得等に対する指導体制は、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	3	2	1	2.64
	○ 教員に対しての教育活動				
19	・教員の知識・技能等を修得するための研修や指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	2	1	2.43

教育活動の項目については、学生に対する教育活動の項目で3項目が前回に比べ、評価点が上がっている。意見としては、教員の研修や講習会への参加についての意見が多く出されており、他の意見としては教員間で授業評価を行い内容の改善や教員間のビジョンの擦り合わせを行ったり、新任教員が先輩教員に対して授業の進め方や生徒との関わり方について教えてもらえる場を設けてほしいとの意見があった。

(4) 学修成果

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
20	・就職率の向上のために情報の提示や学生の相談にのっているか	3	2	1	2.64
21	・資格取得の向上についての取り組み方やコンテスト等への参加を支援しているか	3	2	1	2.86
22	・退学率の低減のために、学生の相談にのっているか	3	2	1	2.64
23	・卒業生・在校生の社会的な活躍や評価を把握し、活躍を応援しているか	3	2	1	2.64

学修成果の項目に関しては、概ね高い評価点であり、1項目で評価点が上がった。意見としては、卒業生や社会人で検定を受ける人もいるため、そのような人達向けの講習会やセミナーを多く設けてもよいのではとの意見や退学率低減のためのサポート体制を整えてほしいとの意見やメンタルケアは専門性が高い問題であるため、心理カウンセラーを学校に置いてほしいとの意見があった。

(5) 学生支援

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
24	・進路・就職に関する支援は行われているか	3	2	1	2.43
25	・奨学金等の修学支援についての案内や手続きの支援は行われているか	3	2	1	2.71
26	・学生相談や健康管理に関する支援は行われているか	3	2	1	2.71
27	・保護者との連携は適切だったか	3	2	1	2.43
28	・卒業生の相談等について対応をしているか	3	2	1	2.57
29	・中学校・高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	2	1	2.71

学生支援の項目に関しては、前回に比べ、1項目で評価点が上がった。意見としては、奨学金や卒業生への対応ができる方の対応力がとても大きいので、より一層の対応を期待しているとの意見や就職への支援については、個別相談の時間や就職担当者を設けることが望ましいとの意見があった。また、高校へのキャリア教育の取り組みで教員派遣を継続することについて要望する意見もあった。

(6) 教育環境

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
30	・施設・設備は教育の必要性に応じて整備されているか	3	2	1	2.43
31	・学内外の研修、インターンシップ、海外研修等について、適切な教育環境が整備されているか	3	2	1	2.50
32	・消防設備の整備・点検、避難訓練の実施等、防災に対する体制は整備されているか	3	2	1	2.43

教育環境の項目に関しては、前年並みであった。意見としては、インターンシップの受け入れ先が学生数と見合わない、授業とインターンシップのスケジュールが合いにくい等、学生の負担とならないような調整が必要ではないかとの意見があった。設備関係の要望については、デザイン画を描くためにiPadが必要なため、必要数を整備して欲しいとの意見もあった。

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
33	・ガイダンスやオープンキャンパス等の学生の募集活動において、参加者が理解しやすいよう丁寧な説明ができたか	3	2	1	2.29
34	・学生の募集活動において、教育成果を正確に把握し、魅力ある学生生活を伝えることができたか	3	2	1	2.00
35	・学納金は、教育内容や教育成果を勘案して、納得のできる妥当な金額となっているか	3	2	1	2.29

学生の受入れ募集の項目に関して、例年概ね高い評価点なのだが、今年は、2項目で評価点が下がり、平均点も前年より下がっていた。意見としては、オープンキャンパスについての意見が多く出ており、参加者の立場になった運営がなされていない、工夫が必要である、必要以上に説明が丁寧すぎるのではとの意見があった。なかには、開催日である土曜日は学生も手伝うことになるので、アルバイト代を支給すべきではないかとの意見もあった。そして、高校生への説明の資料としては、文字や静止画ではなく、動画かせめてスライドショーで学生の製作風景、お昼、放課後などの様子を見せた方が良いのではとの意見もあった。

(8) 財務

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
36	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	2	1	2.14
37	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	2	1	2.36
38	・財務について会計監査が適正に行われているか	3	2	1	2.57
39	・財務情報等について、ホームページ等で公開しているか	3	2	1	2.57

財務の項目については、例年並みであったが、1項目で評価点が上がっていた。意見としては、今年も学校より収支報告についても職員にきちんと報告してほしいとの意見や報告だけではなく、年度当初に計画についてもきちんと説明して欲しいとの意見があった。また、収支の改善には、入学者を増やすことが大切であって、そのためには魅力ある学校にするため、学科のコースや授業内容を改善する取り組みが必要との意見もあった。

(9) 法令等の遵守

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
40	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	2	1	2.71
41	・学生の個人情報の取り扱いは慎重に行われているか	3	2	1	2.64
42	・自己評価結果をホームページ等に公開しているか	3	2	1	2.71

法令等の遵守に関する項目については、1項目で評価点が上がっていた。意見としては、学生の個人情報の取り扱いについては、情報管理の徹底はもちろんであるが、SNSへの顔出し等について、アンケートを現在も行っているが、その結果をSNS担当者には共有しなければならないのではとの意見があった。

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1	今回
43	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3 2 1	2.43
44	・学生たちが社会に対して目を向け、社会や地域における自己の役割を認識し、活動できる人材となるよう呼びかけ、学生主体でのボランティア活動を奨励、支援しているか	3 2 1	2.43
45	・公開講座・出前講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を実施しているか	3 2 1	2.57

社会貢献・地域貢献の項目に関しては、1項目で前回より評価点が下がった。意見としては学内に様々な資格を保有する教員が多いので、社会人向けの短期間の講座を設けてはどうだろうかとの意見や、社会貢献や地域貢献の一環として、空き教室を地域の方に解放し、教員が率先して地域活動に取り組み、生徒を巻き込むべきではないかとの意見もあった。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

総合的な評価結果として、例年挙げられている意見ではあるが、次の2点についての意見が挙げられました。

1点目は、働き方改革により、教職員の勤務状況について検討し、推進しているのは理解できるが、限られた時間の中で、あれもこれもと行わなければならないため、効率的な授業や事務作業をより一層進める必要があり、効率性を無視した自己流のやり方は止めるべきとの意見が挙がっておりました。

また、自己評価の結果について、意見として挙げられた改善点が実際にどの程度改善がなされているのかの報告や改善された点について、全職員が共有し、改善方法の検討やどの改善項目を優先すべきかを検討する会議を毎年、決まった時期に開催してほしいとの意見が挙がっていました。また、報告や検討する場がないのであれば、なぜ自己評価を行っているのか、その意義さえもわからないと多くの職員が考えているようです。

2点目としては、外部への効果的な発信ができなければ、今の時勢、閉鎖的な学校であると認識されるため、発信力の強化が必要になるのではとの意見もありました。